

会員だより

型枠なしでコンクリート舗装!

会員の皆様、ご苦労さまです。
今回は、現在施工している沖縄総合事務局発注の平成 25 年度豊見城トンネル舗装（下り線）工事を紹介します。
トンネル内の舗装構成は連続鉄筋コンクリート舗装（厚さ 21 cm）の上に基層・表層（各 4 cm）となりますが、このコンクリート舗装は沖縄ではまだ珍しいスリップフォーム工法を採用しています。
スリップフォーム工法とはコンクリートの供給、締固め、成形などの機能を備えた施工機械（成型機）を使用して型枠を使用せず連続的にコンクリート版を打設する工法です。



スリップフォーム成型機での施工

株式会社 佐藤渡辺 沖縄営業所長 藤井雅広

特徴として機械施工が主体のため大幅な省力化、省人化が図れることや、施工速度が速く工期短縮が可能となります。狭いトンネル内での施工や、コンクリートの供給方法など苦労する点は多々ありましたが、無事、7月のコンクリート舗装は完了しました。

来年春のトンネル全面開通に向けて、工期的にかなり厳しい現場ではありますが、10月末の工期に間に合うよう職員一同、日々奮闘中です。
トンネルを通行の際には、この会員だよりを思い出していただけると幸いです。



現場全景

会員だより

浦添でだこまつり 奮闘中!

浦添市では、毎年7月の夏休みが始まった第1週目の金曜日、土曜日、日曜日に「浦添でだこまつり」を開催しています。今回は37回目を数える「浦添でだこまつり」を紹介します。

ちなみに「てだこ」とは、昔浦添が琉球王国の首都であったときの王「英祖王」の父が太陽であったという伝説があり、それにちなんで沖縄の方言で太陽を意味する「てだ」と、その太陽の子どもを意味する「こ」がくっつき「てだこ」といわれているとの由。

今年の「浦添でだこまつり」は7月18日（金）に屋富祖大通りにて前夜祭を、19日（土）、20日（日）は浦添運動公園と牧港漁港で盛大に開催されました。本会場である浦添運動公園でのテント設営等は、沖建協の浦添・西原支部の会員各社が地域貢献のボランティアとして行っています。

座波建設株式会社 代表取締役社長 座波 隆司

又、牧港漁港でのハーリー大会には職域対抗ハーリーに浦添・西原支部の会員各社の合同チームとして参加しています。今年も、優勝を目指して(?)各社の選りすぐりの若者が合同チームとして出場しましたが、船酔いならぬ二日酔いのせいだと思いますが、惜しくも予選敗退とあい成りました。ハイタイ!と挨拶してる場合ではありません。男性の場合はハイサイ!です。さらに付け加えますとハーリー大会でハーリー船に乗り込むために使用した浮棧橋のうち2個は、沖建協の浦添・西原支部が製作し、来年少のハーリー大会の為寄贈したものです。道建協の会員の皆様!来年は是非!「浦添でだこまつり」に遊びにきて下さい!



勇壮なハーリー? 必死さが伝わる!

活動報告・トピックス



①第96回 道路美化・清掃活動

台風一過、はや秋の気配が?

8月19日(火)に、17社、19名の参加を得て第96回道路美化清掃活動を行いました。
当日は、やや曇りで蒸し暑い天気でしたが、立秋も過ぎ吹き行く風にどこか秋の気配が感じられました。旧盆明けで、沖縄では大きな行事がひとつ終わったという所です。皆さん、ワークイの疲れも見せず無事作業を終了しました。



道路に落ちているゴミって、誰が落とすの!

編集委員会から

編集委員
株式会社鏡原組
常務取締役 新里 哲生



来ました、将来の担い手!



やや緊張気味の新人君たち、君たちが希望の星だ!

県内建設業の型枠大工やとび工、鉄筋工などの専門職「建設駆体工事の職業」で6月の有効求人倍率が2.45倍となっており人手不足が続いている状況にあります。
弊社においても若手技術者・技能者へ技術の継承のため、今年5名の新入社員を採用しており、営

今月の予定

- ①平成 26 年南北国道事務所との意見交換会、懇談会 9月5日(金) 15:30~20:00
[於:カルチャーリゾートフェストーン]
- ②第97回 道路美化・清掃活動
後半グループ9月16日(火)10:00~



魂をゆさぶるような 各リーダーたちの言葉!

特許マン 丸島 義一の言葉
(突破せよ、最強特許網 新コピー機誕生)

「特許の争いというのは、最終的に白か黒かで決着する。
負けたら終わり。会社がつぶれる可能性もある。ものすごい緊張感と使命感で、重いものが常にずしーんとのしかかっているような精神状態ですね」



編集室 N・S

国土交通省と日本建設業連合会など業界5団体が女性の技術者や技能労働者を5年以内に現在の2倍の約20万人に増やすため、採用や登用の数値目標を業界が設定したり、工事現場周辺に託児所を設置したりするなどの行動計画をまとめました。女性の社会進出を促進し、最近深刻化する業界の人手不足を解消する狙いがあります。また、女性技術者を一定以上位置することを入札条件とした、国直轄のモデル事業も推進するとしています。

少子化が進む中、女性の就労が大きな問題になってくると思われます。業界でも女性の参入を促すため、就労時間、男女間の賃金格差、産休、育休等の配慮、職場環境の改善等、解消すべき課題がいくつもあります。家事・育児の男性参加も当然になってきます。女性の潜在労働力を巡って、将来の業界の態様が大きく変わること考えられます。業界全体で知恵を出し合っ、問題の解決に当たるしかないようです。

業部1名、工事課(技術員)に3名、工務課(作業員)に1名配属しています。

卒業したばかりなので、2名が運転免許を取得しておらず、A君は、会社を休んで教習所に通い8月に取得しました。Y君は、自転車通勤をしており原付免許を9月に取得予定です。

入社して5ヶ月になりますが資機材等の専門用語や施工の流れを覚える事に一生懸命で現場でいっぱい汗を流し、暑さに負ける事無く頑張っています。

職場のみんなと一緒に協力して、モノが出来上がっていく楽しさや大規模施工の迫力等を伝え、若手が活躍できる魅力ある職場環境作りに取組んでいます。